

膨大で貴重な 三羊館 写真コレクション

三羊館とは、海津出身の明治生まれの写真家、石井田勘二さんが昭和初期から昭和四十年代にかけて今津町で営業していた写真館の屋号である。五十代以降の方は、高島高校前で証明写真などを撮った写真館としても懐かしい記憶の中に残っているかもしれない。その写真館には、昭和初期からの乾板古写真が残されていた。全ての写真資料総数は、三万五千点にも及ぶ。店をたたむに際し、ご遺族の方は全ての資料を高島市に寄贈し、現在は高島市がそれを管理している。

その写真には、戦前の日常の水辺の暮らしや戦地に送る家族写真、昭和九年の春から夏に6つの隧道（ずいどう）を建設した海津大崎のトンネル工事の様子の写真が数十枚など、貴重な時代の記憶が刻まれている。

貴重な写真の一部は、市のホームページの中のデジタル博物館というページにも掲載されている。



第7号 平成22年9月発行
編集：海津西浜加内地域文化的景観まもり協議会

下の写真は、平成22年3月発行されたパンフレット、新「海津ものがたり」の中の、海津西浜にまつわる三羊館古写真の紹介のページです。



「海津さん橋」と蒸気船



海津浦と丸子船



内湖での積み込み

「三羊館写真場」は昭和40年代まで高島市今津町にあった写真店で、高島市には、その初代店主・石井田勘二氏が撮影した大量の写真フィルムが残っています。海津出身の石井田氏は、記念写真など写真店の仕事以外に、多くの海津近辺の風景写真を撮影しており、これらは、大正末から昭和初期の海津・西浜の風景を伝える貴重な記録となっています。



地引き綱渡



大豆を干す



大潮汽船の「海津さん橋」

ええとこやったんや 海津・西浜・知内

イベント 案内

日 時 9月18日(土)

集合場所 午前の部 マキノ東小学校正門前(10:00から)

午後の部 海津一区 集会所(いっぶくの家)(13:30から)

参加費 無料(但し、昼食が必要な方は、昼食代として¥1,000をお願いします。)

参加申込 不要(但し、昼食が必要な方は、下記の昼食申込をお願いします。)

一部だけでの参加も歓迎します。奮ってご参加下さい。

午前の部 海津・西浜・知内の「ええとこ」探し、して見ませんか。

この地域に造詣の深い、滋賀県立大学の上田先生や学生と共に、海津の町歩きを行います。

10:00~12:30 海津町歩き 町並みや石積みだけでなく、生活に根ざした水と係わりのある施設や空間やこの地域特有の自然などにも触れていただく予定です。

12:30~13:30 昼食(琵琶湖のめぐみを盛り込んだお弁当 ¥1,000)

午後の部 地域の資源の活用した実例報告と町の活性化について

高齢化、空き家・空き地の増加など地域の問題と、重要文化的景観に指定された、地域資源の活用などを一体的に考えられないだろうか。

13:30~14:00 滋賀県立大学 学生・聴講生の海津の「ええとこ」発見報告

14:10~15:30 滋賀県立大学 民家活用実践の実例報告

15:40~16:30 フリートーク(意見交換会)



昼食が必要な方は、ご予約が必要です。下記まで、メール・FAX又はTEL よろしくをお願いします。

申込先 海津西浜知内文化的景観協議会 広報担当 本田明

メールアドレス info@hondakenchiku.com FAX 27-0093 TEL 27-0062

昼食 申込用紙

(昼食代¥1,000は、当日お弁当と引き換えとさせていただきます)

ええとこやったんや海津・西浜・知内 イベント 昼食 申し込みます

お名前		個数	
-----	--	----	--